



# 被災した商店街の再生を目指して

東日本大震災により、沿岸地域では、街の顔である商店街も壊滅的な被害を受けました。県では、被災事業者の事業再開を最優先課題と捉え、店舗などの建物や設備を整備するための補助金や資金貸し付けなどの支援をしてきましたが、今後は、コミュニティの核となり、人々の交流拠点ともなる商店街が求められることから、新しい街の顔となる商店街の再生に向けて支援していきます。

**被災地の生活基盤を確保するとともに、にぎわいや地域コミュニティを取り戻し、さらには沿岸の市街地を活性化できるよう、県では、新しい市街地への共同店舗や個々の店舗の整備のほか、商店街におけるソフト面での取り組みに対しても、引き続き積極的に支援をしていきます。**

**継続的な支援を実施**

被災地の生活基盤を確保するとともに、にぎわいや地域コミュニティを取り戻し、さらには沿岸の市街地を活性化できるよう、県では、新しい市街地への共同店舗や個々の店舗の整備のほか、商店街におけるソフト面での取り組みに対しても、引き続き積極的に支援をしていきます。



新しいまちづくりの打ち合わせ風景(女川町)

## 商店街の再生に向けて



仮設商店街(閉上さかい市場:名取市)

沿岸の市街地においては、復興まちづくり事業(防災集団移転・土地区画整理など)を実施していますが、地元の合意形成や土地権利関係の調整など、さまざまな課題の調整に時間を要しており、工事に遅れが生じていることから、市街地整備の完了が2、3年後になる予定の地域もあります。

沿岸の市街地においては、復興まちづくり事業(防災集団移転・土地区画整理など)を実施していますが、地元の合意形成や土地権利関係の調整など、さまざまな課題の調整に時間が要しており、工事に遅れが生じていることから、市街地整備の完了が2、3年後になる予定の地域もあります。

## …にぎわいと活力を取り戻します…

### 新しい女川を観光資源に

女川みらい創造株式会社 専務取締役  
近江 弘一さん



女川みらい創造は、津波で壊滅的被害を受けた女川町の中心部に、新たににぎわい拠点の創出を担うまちづくり会社。民間のノウハウを生かし、テナント型商店街と、水産加工品を販売するテナント施設を建設し、管理・運営する。集客イベントの企画、女川ブランドの構築なども手掛ける。

「会社は今年6月に設立し、7月1日に業務を始めました。商業交流施設の事業説明会でテナントを募集したところ、28店舗の入居希望があり、施設着工に向け最終段階に入っています」

事業を進める前提となる「まちなか再生計画」を町が策定しているが、国との事前相談に時間がかかったため、当初目指していた、来年1月着工、10月オープンが、2月から3月の着工、12月開業へとずれ込みそうだ。施設建設費には、国の津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金を活用する。

「この補助金を商店街形成に適用するのは、女川がファーストモデルになるそうです。事業に対するハードルはいろいろな面で高くなっていますが、頑張ってクリアしていきます」

沿岸の被災地は人口が減少しており、交流人口の拡大が鍵を握る。

「多くの町民に利用してもらうのはもちろん、商店街を含めたエリアを面として有効活用し、女川に来ていただく仕掛けを考え、生まれ変わる女川を観光資源としたい」と意気込みを語った。

### 荒浜に活気を取り戻したい

亘理町荒浜にぎわい回廊商店街理事長  
残間 祥夫さん



東日本大震災で壊滅的な被害のあった亘理町荒浜の漁港向かいに12月中旬、新しい商業地「荒浜にぎわい回廊商店街」が開業する。築港通り沿いの約8500平方メートルに、店舗のほか約80台分の駐車場、トイレなどを整備する。残間さんが営むサーフショップとパソコン関連の2店による東ゾーンが先行し、鮮魚、居酒屋など6店舗が入るアーケード街の西ゾーンが来年2月中旬の開業を目指す。

「補助金や法人申請など手続きで手間取り、事業が遅くなってしまったが、やっとここまで来ました。店を開くなら荒浜しか考えられませんでした。愛着のある荒浜に、ぜひにぎわいを取り戻したいです」

サーファーの憩いの場だった店舗は津波で全壊。もう荒浜にサーファーは戻らないとまで悲観した残間さんは、商売から一時退き復興関係の仕事に就いた。しかし、海底のがれき撤去が進み、荒浜で再びサーフィンを楽しめるようになると、気持ちが前向きになった。

「前の場所に店を再建しようと思い、準備を始めたところ、町から商工観光ゾーンとして集約した土地に移らないかと持ち掛けられました。開店は遅れてしまいますが、荒浜のためにみんなで協力が必要だと思い決断しました。観光客やリビーターを引き付けられるか、自分たちの頑張りにかかっています」と決意を示した。

### 仮設の隣に新商店街形成

気仙沼復興商店街 南町紫市場副理事  
坂本 正人さん



気仙沼市の南町地区は、観光客も訪れる「気仙沼の顔」と自負する商店街だったが、津波で約160あった店舗が被害を受け、商店街が壊滅した。その南町に7棟のプレハブを建て53店が平成23年12月に営業を再開した。仮設整備事業での商業施設としては店舗数で全国最大規模。営業3年目に入り、集客力を維持しながら、商店街の本格復興を見据える。

「震災後、南町は人口がかなり減りましたが、この仮設商店街が開業してから人が集まるようになりました。この地域で営業のめどが立たなかったお店も営業再開を果たすことができました。仮設商店街を開いて、頑張って人を呼び込んだ結果があったのかなと思っています。集客は少し落ちてきましたが、2年間営業延長したので、本設開業まで何とか頑張ります」

本設の商店街は、仮設商店街の隣接地に盛り土をした上で整備する。仮設の店舗数とほぼ同規模の事業者が入居を希望。グループ補助金を活用して共同店舗を建設する。1階を店舗とし、2階以上の部分を災害公営住宅とする方式を採用する計画だ。

「資金や後継者の問題などがあり、本設に移るのに抵抗感を持つ人もいましたが、懸命に呼び掛けてテナント入居者を確保できました。みんなで力を合わせて新しい街づくりをしたい。そして、にぎわいを取り戻し、気仙沼復興の起爆剤になりたい」と抱負を語った。

■企画／県広報課 ○お問い合わせ／県商工経営支援課 022(211)2746



## 県からのお知らせ

### 危険物取扱者試験(全種類)

- 日時／平成27年1月18日(日)
- 場所／宮城県石巻工業高校、宮城県古川工業高校
- 出席／12月12日(金)(消印有効)までに、郵送により下記センターへ
- 願書／下記および主な防災署などで配布※一部の試験を除き電子申請も可能です。
- 消防試験研究センター・宮城県支部  
☎022(276)4840  
〒981-8577
- 仙台市青葉区堤通南宮町4-17県仙台合同庁舎5階  
https://www.shoubo-shiken.or.jp/bra\_nch/04miyagi/  
宮県消防課  
☎022(211)2374

### 平成26年県民意識調査にご協力をおねがいします

- 県民の皆さんの思いを県政に反映させるため、県民意識調査を行います。

調査票が届いた方は、調査にご協力をお願いします。

●対象／県内在住の方4000人(選挙人名簿などから無作為抽出)

●回答期限／12月26日(金)

○申込方法／郵便にて

http://www.city.sendai.jp/sunmioi/keizai/koyo/1214899\_1609.html

○問屋用対策課  
☎022(211)2772

拉致問題啓発

「ふるさとの風コンサート」

(パブリックビューイング)

県では、12月10日～16日の北朝鮮人権侵害問題啓発週間にちなんで東京で開催される拉致問題啓発コンサートのライブ中継を行います。

この機会に、国民的な課題となっている拉致問題を始め、北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めましょう。

●対象／D.Vや離婚で悩んでいる女性、シングルマザーの方が安心して話せる語り合いの場「バーブル・タイム」を開催します。悩んでいる方、思い切って参加してみませんか？

●内容／「ふるさとの風コンサート」(プロデュース・総合司会：宇崎竜童氏、阿木燿子氏、出演：森昌子氏など)

●日時／12月25日(木)午前11時～午後4時5分(午前10時50分から受け付け)

●場所／エアリ階多目的ホール

●申し込み／12月24日(水)までに、下記ホームページから電子申請(事前申し込みがない場合でも、事前申込が可能です)。

http://www.city.sendai.jp/sunmioi/keizai/koyo/1214899\_1609.html

○問屋用対策課  
☎022(211)2772

「バーブル・タイム」のお知らせ

D.Vや離婚で悩んでいる女性、シングルマザーの方が安心して話せる語り合いの場「バーブル・タイム」を開催します。悩んでいる方、思い切って参加してみませんか？

●内容／「ふるさとの風コンサート」(プロデュース・総合司会：宇崎竜童氏、阿木燿子氏、出演：森昌子氏など)

●日時／12月25日(木)午前11時～午後4時5分(午前10時50分から受け付け)

●場所／エアリ階多目的ホール

●申し込み／12月24日(水)までに、下記ホームページから電子申請(事前申し込みがない場合でも、事前申込が可能です)。

http://www.city.sendai.jp/sunmioi/keizai/koyo/1214899\_1609.html

○問屋用対策課  
☎022(211)2772

拉致問題啓発

「ふるさとの風コンサート」

(パブリックビューイング)

県では、12月10日～16日の北朝鮮人権侵害問題啓発週間にちなんで東京で開催される拉致問題啓発コンサートのライブ中継を行います。

この機会に、国民的な課題となっている拉致問題を始め、北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めましょう。

●対象／D.Vや離婚で悩んでいる女性、シングルマザーの方が安心して話せる語り合いの場「バーブル・タイム」を開催します。悩んでいる方、思い切って参加してみませんか？

●内容／「ふるさとの風コンサート」(プロデュース・総合司会：宇崎竜童氏、阿木燿子氏、出演：森昌子氏など)

●日時／12月25日(木)午前11時～午後4時5分(午前10時50分から受け付け)

●場所／エアリ階多目的ホール

●申し込み／12月24日(水)までに、下記ホームページから電子申請(事前申し込みがない場合でも、事前申込が可能です)。

http://www.city.sendai.jp/sunmioi/keizai/koyo/1214899\_1609.html

○問屋用対策課  
☎022(211)2772

「バーブル・タイム」のお知らせ

D.Vや離婚で悩んでいる女性、シングルマザーの方が安心して話せる語り合いの場「バーブル・タイム」を開催します。悩んでいる方、思い切って参加してみませんか？

●内容／「ふるさとの風コンサート」(プロデュース・総合司会：宇崎竜童氏、阿木燿子氏、出演：森昌子氏など)

●日時／12月25日(木)午前11時～午後4時5分(午前10時50分から受け付け)

●場所／エアリ階多目的ホール

●申し込み／12月24日(水)までに、下記ホームページから電子申請(事前申し込みがない場合でも、事前申込が可能です)。

http://www.city.sendai.jp/sunmioi/keizai/koyo/1214899\_1609.html

○問屋用対策課  
☎022(211)2772

拉致問題啓発

「ふるさとの風コンサート」

(パブリックビューイング)

県では、12月10日～16日の北朝鮮人権侵害問題啓発週間にちなんで東京で開催される拉致問題啓発コンサートのライブ中継を行います。

この機会に、国民的な課題となっている拉致問題を始め、北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めましょう。

●対象／D.Vや離婚で悩んでいる女性、シングルマザーの方が安心して話せる語り合いの場「バーブル・タイム」を開催します。悩んでいる方、思い切って参加してみませんか？

●内容／「ふるさとの風コンサート」(プロデュース・総合司会：宇崎竜童氏、阿木燿子氏、出演：森昌子氏など)

●日時／12月25日(木)午前11時～午後4時5分(午前10時50分から受け付け)

●場所／エアリ階多目的ホール

●申し込み／12月24日(水)までに、下記ホームページから電子申請(事前申し込みがない場合でも、事前申込が可能です)。

http://www.city.sendai.jp/sunmioi/keizai/koyo/1214899\_1609.html

○問